

令和2年度自己評価シート(中間)

学校名 三次市立君田小学校

| 中期経営目標 | | | | | | |
|--|---------------------------------------|---|----|--------------------------------------|------|--|
| 短期経営目標 | 具体的な取組・方策 | 評価指標 | 評価 | 達成状況 | 担当部等 | |
| 1 主体的に学びあう授業づくり | | | | | | |
| 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 | ○チャレンジタイムの改善と実施 | 国語科・算数科学期末テスト(学期末漢字テスト含む)の全国平均以上の児童の割合 80%以上 80%以上 4 70% 3 60% 2 50%未満 1 | 2 | 平均 67% | 教務部 | |
| | ○君田中学校試験期間と合わせ家庭学習の取組重点期間の設定と実施 | 宿題提出率(提出日にやり終えた児童を含む) 100% 100% 4 90% 3 80% 2 70%未満 1 | 3 | 平均 96% | | |
| | ○読書活動の推進による意欲向上 | 個人の目標冊数及びページ数を達成した児童 90%以上 90%以上 4 80% 3 70% 2 70%未満 1 | 2 | 個人の目標冊数及びページ数を達成した児童 90%以上 平均 75% | | |
| 学びの主役が児童の授業 ～「できた」「分かった」「楽しい」を実感し意欲的に学びあう授業づくり～ | <国語科の授業研究> ○「めあて」の明確化と「振り返り」の充実の推進 | 児童意識調査(国語科)で「めあてを達成できた」の設問に対して肯定的評価の指導者・児童の割合 80%以上 80%以上 4 70% 3 60% 2 50%未満 1 | 4 | 指導者 75% 児童 92% 指導者・児童の平均 83.5% | | |
| | | 三次市学力到達度検査の国語科において「評定1」児童の割合 20%以下 20%以下 4 25% 3 30% 2 35%以上 1 | | *1月に実施予定のため今回は評価していない。 | | |

| | | | | |
|------------|--|--|--|-------|
| 落ち着いた環境づくり | <p>○学習に向かう姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P P G の習慣化 授業の初め・中・終わりで確認・指導 ・時刻を守る 授業開始・終了 | <p>指導者・児童アンケート</p> <p>肯定的評価の割合</p> <p>90%以上</p> <p>90%以上 4</p> <p>70% 3</p> <p>60% 2</p> <p>50%未満 1</p> | <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P P G が習慣化している 指導者 56% ・時刻を守っている 指導者 87% 児童 91% 指導者・児童の平均 78% | 生活保健部 |
| | <p>○落ち着いた生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・返事の定着 ・掃除の徹底 自分の役割を果たす，時間いっぱい，だまって掃除を重点とする「そうじ週間」の設定 | <p>指導者・児童アンケート</p> <p>肯定的評価の割合</p> <p>90%以上</p> <p>90%以上 4</p> <p>70% 3</p> <p>60% 2</p> <p>50%未満 1</p> | <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・返事ができている 指導者 62% 児童 93% ・掃除の徹底ができている 指導者 87% 児童 80% 指導者・児童の平均 80% | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策（換気・手洗い） | <p>環境委員の評価の「換気できていた」の割合 90%以上</p> <p>90%以上 4</p> <p>70% 3</p> <p>60% 2</p> <p>50% 1</p> <p>児童アンケート「手洗いをする」肯定的評価の割合 90%以上</p> <p>90%以上 4</p> <p>70% 3</p> <p>60% 2</p> <p>50% 1</p> | <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気ができている 環境委員 100% ・手洗いができている 児童 92% 平均 96% | |
| | <p>○基本的な生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーメディアデーの啓発・実施 ・就寝時刻を守って生活する 目標就寝時刻を設定 | <p>児童アンケート</p> <p>肯定的評価の割合</p> <p>90%以上</p> <p>90%以上 4</p> <p>70% 3</p> <p>60% 2</p> <p>50%未満 1</p> | <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーメディアデーを実施している 児童 87% ・就寝時刻を守って生活している 児童 84% 児童平均 85% | |
| 自らへの自信 | <p>○体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト(50m走)の実施 | <p>新体力テストの走力の県・国平均以上 12項目中 70%以上</p> <p>70%以上 4</p> <p>60% 3</p> <p>50% 2</p> <p>40%未満 1</p> | <p>1</p> <p>平成 31 年度新体力テスト 県・国平均値以上 男女 12 項目中 3 項目 (1 年生男子・2 年生女子・6 年生女子)</p> <p>達成率 25%</p> | |

1 主体的に学びあう授業づくりについて（分析と改善）

○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着

・学年ごとの課題はあるが、共通する課題は「読解力」である。授業の中で、「じっくり教えるところ」と「考えさせるところ」を明確にして改善を図っていききたい。チャレンジタイムで国語科の読み取り問題を週2回取り組み、成果が出ている。今後もチャレンジタイム中に「問題の解説（考え方など）」を指導する時間をとりながら、継続して取り組む。また、1学期中途から「個別指導チャレンジタイム」を取り入れ、個のつまずきに対応している。児童は意欲的に取り組んでいるので、継続する。

・宿題提出率は、その日のうちにやり切らせることを含めて取り組んだ。やり切らせる時間の工夫をしながら、「家庭学習の習慣」を定着させていきたい。

・読書活動は、75%以上の児童が、個人の目標冊数及びページ数を達成している。達成できなかった児童は、2学期の目標を見直し、読書をする時間を大切にさせたい。

○学びの主役が児童の授業

・国語科の授業において、「めあて」の提示や「ふりかえり」活動はどの学年でも行っている。授業のねらいを明確にした分かりやすい「めあて」の設定とともに、「めあて」と「ふりかえり」をつなぐ指導内容の工夫改善をしていかなければいけない。

・全ての児童に「本時の目標」を達成させるために、個に応じた指導内容や手立ての工夫を考える必要がある。

○落ち着いた環境づくり

・PPGができていない児童が多い。指導者は声をかけているが定着が不十分である。授業の始めと終わり、号令時に姿勢を整えることを意識させると共に、評価を加えながら定着させる。

・換気、手洗いは、指導者、児童共に、意識して取り組むことができている。今後も継続して取り組む。

・あいさつ、返事は、指導者と児童の評価の差がある。あいさつ、返事について模範となる児童を紹介し、目指す姿をイメージさせる。

○自らへの自信

・走力について、県、国平均を超えている項目は3項目（1年男子、2年女子、6年女子）であり、走力に課題がある。体育科の準備運動時に、スタートダッシュを取り入れたり、走る時の体の使い方を指導したりする。

| 中期経営目標 | | | | | | |
|-------------|--------------------|---|----|--|------|--|
| 短期経営目標 | 具体的な取組・方策 | 評価指標 | 評価 | 達成状況 | 担当部等 | |
| 2 信頼される学校 | | | | | | |
| 学校・家庭・地域の連携 | ○積極的な情報発信 | 学校から発信する「たより」に君田小中一貫アンケート・君田スタンダードアンケート等の結果を示す。 5回以上 5回以上 4 4回 3 3回 2 2回 1 | | ・保健だより（8月号）に生活習慣に係るアンケート結果を示した。 | 教務部 | |
| 働き方改革 | ○児童に向き合う時間の割合を増やす。 | 児童に向き合う時間の割合が増えたと感じる教職員の割合を85%以上 85%以上 4 70% 3 60% 2 60%未満 1 | 3 | ・児童に向き合う時間が確保されている。91.7% ・児童に向き合う時間をつくるための業務改善に取り組んでいる72.7% 平均 82.2% | 総務部 | |

2 信頼される学校について（分析と改善）

○積極的な情報発信

・今後も保健だより，学校だより等を通じて，君田小中一貫アンケート・君田スタンダードアンケート等の結果を掲載していく。

○児童に向き合う時間の割合を増やす。

- ・月計画，週計画を提示することで見通しをもった業務を行う。（継続）
- ・各委員会，部会は木曜日の研修時に計画する。また，内容・時間設定を行い，効率的に行うことで児童に向き合う時間を確保する。

【学校関係者評価委員さんからの評価及び意見】

令和2年度学校関係者評価シート(中間評価)

令和2年10月

| 評価項目 | 評価 | 理由・意見 |
|--------------------|----|--|
| 目標, 指標, 計画等の設定の適切さ | A | <ul style="list-style-type: none"> 学校実態に即した適切な指標設定である。 学校教育環境を整えるための感染症対策の設定は小学校だけでなく, 中学校も必要である。 児童の実態に合わせたものになっている。計画的な設定になっている。 そこまで無理のない設定だと思う。 |
| 計画の進捗状況の評価の適切さ | B | <ul style="list-style-type: none"> 各評価項目に対する検証方法としてアンケート等の結果等示されており, 達成状況が分かりやすい。 アンケートを実施して, 達成状況と評価が適切に行われている。 皆が意識をもつと達成できるはず。今後の取組に期待する。 |
| 目標達成に向けた取組の適切さ | B | <ul style="list-style-type: none"> 焦点化された取組である。 授業を参観する中で, 「学びの主角」が児童であるよう努力している。 「主体的に学び合う」授業づくりを感じる。 まだ皆にしっかり浸透していないように感じる。もっと意識を向けていく工夫が必要ではないかと思う。 |
| 評価結果の分析の適切さ | B | <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果について, 指導者と児童の差が見られる項目があるので, 分析が必要である。 「信頼される学校づくり」に取り組んでいることが, 分析にあらわれている。 「読解力」についての大切さと分析が適切である。 読書部分の評価点が低いので, そこは改善が必要である。 全体ができていようではなさそうなので, 細かい部分にも気を配っていく必要を感じる。 |
| 今後の改善方策の適切さ | A | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組内容が示されている。 宿題提出率については, 中学校でも固定化傾向がある。低学年から中学年までの発達段階的な分析を基に, 方策を小中で検討しましょう。 実態に合った改善方策が立てられている。 「児童に向き合う時間」を大切に考えられている。 各目標での改善が明確になっているところが良い。 改善策をしっかりと実践してほしい。 |
| 総合評価 | B | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で様々な行事等が中止・縮小になる中, 学校組織としての取組に工夫が見られます。 図書館教育(読書教育)は君田小学校の伝統なので, 小中共に一貫して系統的・計画的に取組を進めていきましょう。過去の財産(指導計画等)に今一度立ち返る必要もあるかと思います。 適切な目標, 指標, 計画が設定され, 取組, 評価, 結果の分析, 改善方策が適切だと評価する。 今後も学習に向かう意欲と落ち着いた環境づくりに取り組んでほしい。 読書を通じて, 「読解力」を身に付けることで, 授業での問題を読み取り, しっかりと考えることができると思います。 今後の取組につなげていくこと, 保護者などの参観がなくても児童が落ち着いて学習できるようになることを望む。 |

評価基準 (A: たいへん満足できる B: 満足できる C: 改善が必要 D: 非常に改善が必要)